

2017-10-2

ふじさわ・九条の会ニュース

NO50



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 吉塚晴夫 0466-65-4033

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

来るべき総選挙で、市民の総力を結集し アベ首相の悪政、九条改悪を阻止しよう！

9/7 12区市民の会、野党統一候補 擁立を求め 円卓会議ひらく



9月7日、「野党統一候補を求める12区市民の会」は藤沢商工会館ミナパークで「市民と野党の円卓会議」を開き時期総選挙にあたっての政策、野党共闘のあり方について討議した。民進党阿部事務所、共産党、社民党、自由党の代表が参加して見解を述べた。各代表とも政策的には一致し、野党共闘の必要性を確認した。

市民の会共同代表小林氏が、「昨年の参議院選挙のように小選挙区選挙で野党が統一して戦えば勝ちます。仙台市長選挙でも野党が共同して勝ちました。憲法改正や自民党の悪政を止めさせるためには、12区で自民党の候補を倒し野党共闘の候補を勝たせなくてはなりません。小選挙区では相手を負かし勝つことです。6月8日の野党党首の共闘合意は生きています。神奈川県での野党統一候補擁立の条件がいいこの12区でどのようにして一日も早く市民と野党の統一候補を擁立するか、緊急の課題です」と訴えた。

民進党は「希望の党」と合流！

12区・阿部とも子候補は、
「希望の党」に入らず無所属で出馬！



その後情勢は急変。安倍総理は臨時国会で所信表明演説さえせず冒頭解散、民進党は野党共闘を離

れ希望の党と合流しました。

しかし、12区阿部とも子候補は、「希望の党」に行かず、無所属で出馬することになりました。私たち市民と立憲野党勢力は「希望の党」などに頼るのではなく、今まで模索、議論してきた市民と野党共闘の成果を更に発展させなければなりません。大義なき解散総選挙をチャンスと捉え現政権を少数派に追い込みましょう。

9月8日、渡辺治氏の緊急学習会

9条加憲は「戦争への道」129名参加

ふじさわ9条の会では、9月8日一橋大学名誉教授渡辺治氏を招いて9条3項追加の「安倍改憲を許さない」緊急学習会を開催しました。市民会館第1展示ホールに129名の皆さんが集まり、渡辺氏のお話は、「よくわかった、時期を得たタイムリーな学習会だった」と好評を博しました。

子どもたちに

「戦争をしない国」を手渡したい

ふじさわ・不戦のちかい 平和行動

8月15日 終戦記念日

8月15日は雨。オープニングに出演予定で駐車場まで太鼓を運んでくださった「湘南太鼓」のみなさんは、雨のため、出演いただけなかった。残念。

しかし、変わって「マネキンシスターズ+ジ



ョニーH」のいきいきした歌と演奏で開始。聴衆は足を止め、聞き入った。すてきなオープニングになった。

雨にもかかわらず、参加者（出演者も含めて）130人。南口一階の通路を埋め尽くす感じだった。中でも「核兵器の廃絶を求める高校生1万人署名」のみなさんの参加と訴えは光った。「核兵器禁止条約」が国連で採決されたタイミングでの高校生の参加だったからである。

更に、今年も恒例の市民と超党派の議員によるスピーチが実現できた。超党派の議員とは、4野党（民進党、共産党、社民党、自由党）の国会・県会・市議会議員である。衆議院選挙が近いといわれ、そこでの野党統一候補が求められている今日、私たちの集いは「統一候補を生み出す架け橋」になっているのだと思う。

ジュネーブへ行った高校生平和代表に スピーチさせなかった日本政府に 抗議の電話を入れる

8月15日、藤沢駅前でおこなわれた「不戦のちかい平和行動」で地元の高中生達が反核署名をやっていました。ジュネーブの軍縮会議に

届けるとのこと。多くの方が署名をやり渡航費用のカンパもしました。

ところが、例年行われている、スイスのジュネーブの国連での軍縮会議で、高校生平和大使の「核兵器廃絶」のスピーチが今年突然中止と



の情報を知り、私は外務省に電話で抗議しました。電話に出たのは若い女性のようなのでした。私の抗議の電話は、昨年まで国連での高校生平和大使のスピーチが行われていたのに、何故今年は中止なのですかの質問に、「今年は特別なのです」との返答でしたので、続けて「理由は何です」と問いかけたら「言えません」の一言でした。続いて、「政権の圧力ではありませんか」と問いかけたら「言えません」とまた、同じ返事でした。これでは埒があかないので、「貴女は、一国民として原爆2発で一瞬にして生きたまま焼き殺された人が沢山いた事に、どんな感じを持っていますか」と質問したら30秒程無言でした。そして「抗議の電話があった事を上司に伝えて下さい」と頼み、「そうします」の返事で電話を切りました。絶対、政府の指示だと思いました。

核兵器禁止条約、一刻も早い批准を 世界から批判された日本政府の対応

7月7日に国連で122カ国の賛成によって採択された「核兵器禁止条約」への署名が9月20日から始まり、初日だけで50カ国を超えました。50カ国で批准されれば90日後に発効します。

この条約は、核兵器の使用はむろんのこと貯蔵や威嚇をも人道主義の立場から禁じるもので、「核抑止論」を超える集団的安全保障の

方向を示しています。条約採択を牽引したのは、被爆者団体をはじめとする世界の市民運動でした。

今年の8月6日広島、9日長崎での平和式典には核兵器禁止条約を「いかなる状況においても核兵器の使用は容認できないことに着目した世界的な運動の結果」とし、「広島の平和へのメッセージと被爆者の方々の英雄的な努力は、核兵器の使用がもたらす壊滅的な影響を世界に強く印象付け、核兵器廃絶を目指す世界的な運動に貴重な貢献をしてきました」との国連事務総長のメッセージが寄せられ、田上長崎市長は、「核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとると明言しているにも関わらず、交渉会議にさえ参加しない姿勢を到底理解できない」と日本政府を批判、「条約への一日も早い参加を目指し、核の傘に依存する政策の見直しを進めてください」と日本政府に一刻も早い参加を要請しました。

ところが安倍政権は「わが国のアプローチとは違う」として加入を一貫して拒否しています。長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長は首相に要望書を渡すさいに、「あなたはどこの国の総理ですか。私たちがあなたは見捨てるのですか」と、怒りの言葉を直接ぶつけました。

藤沢市議会への請願

国連の「核兵器禁止条約」に対する署名・調印の意見書提出～不採択

7月7日に国連で「核兵器禁止条約」が採択され、世界は核兵器廃絶に向けて具体的で大きな一歩を踏み出しました。ところが唯一の戦争被爆国である日本政府はこの条約に署名・調印しないことを表明。被爆者をはじめ多くの国民が疑問と怒りを覚えました。「核兵器廃絶平和宣言」と「核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を制定している藤沢市民としてこれを見過ごすわけにはいかず、原爆被災者の会や新婦人など9団体で構成する「ピースリレー・ふじさわ」として、「日本国政府に対して国連で採択された『核兵器禁止条約』に署名・調印するよう藤沢市議会として意見書の提出を求める請願」を出しました。総務常任委員会では採択。その後本会議

に向けて賛成議員を過半数にするために働きかけましたが、16対19で残念ながら不採択になりました。自民系と公明党は、この条約は核保有国と非保有国の対立を広げるもので、高度の政治的判断として署名はしないとする政府の判断を支持し、賛成しないというものでした。藤沢市も参加している平和首長会議ではすべての国に対し加盟を要請しているため、市議会の結果はこれに反するものとなりました。

藤沢市教育委員会、教科書採択正常化 初めての道徳教科書に光村図書

道徳が教科となり、小学校では来年度から教科書を使い授業を行い、文章記述による評価をします。8月2日、藤沢市教育委員会は、小学校で使う道徳の教科書に光村図書出版を採択しました。傍聴定員100名に対し190人を越える希望があり、初めて音声での傍聴も行われました。今回は、11年や15年の中学教科書採択とは大きく異なり、採択審議委員会、教育委員会で、教育的な視点での検討がなされ、また学校からの調査書や教書展示会で書かれた市民の意見にふれた発言もあり、現場や市民の意見を謙虚に受け止めての採択になりました。審議のために準備された資料も充実、市民への公開も大きく前進しました。

教科書展示会に368人が来場し、245人から意見が寄せられ、「現場教師の意見を尊重」した採択を求める記述は30件以上ありました。保護者、市民の広範、多様な取り組みが教科書採択を正常化する力になっています。

＜地域九条の会の活動＞

— 明治地域9条の会 —

子ども達への映画会

元気をもらっているのは私達

夏に「平和映画会」を実施してきました。3年前から「未来を担う子どもたちに鑑賞させたい」と子ども施設への働きかけを行い、賛同を得て実施しています。昨年は2か所、今年は3か所で実施。鑑賞した子ども達は180人余です。湘南台図書館からフィルム、映写機などをお借

りし、無料での実施。今年上映したのは、米軍機墜落から40年目なので「パパママバイバイ」、小、中学校の教科書にも掲載されている「一つの花」「字のないはがき」です。

「パパママバイバイは、初めはふつうの生活だったのに終わりの所で悲しい結末だったから悲しかった。字のないはがきは、お父さんはがんこだったけど、すごく家族のことを思っていることがわかった。」「わざわざ来て頂いてありがとうございました。また来年も楽しみです。」などの感想を子ども達は寄せてくれました。当日の子ども達の真剣な眼差しや声に励まされ、私たちが元気をもらっている感じです。

一善行九条の会一

毎月、憲法学習会と駅頭宣伝実施

善行九条の会は、2014年1月15日に発足、早3年8月が経過しました。試行錯誤を繰り返しながら、月1回、第2火曜日の14時から2時間、憲法を中心に学習会を行っています。安倍政権になってからの発足ということもあり、ワイワイ、ガヤガヤ批判を中心に楽しく盛り上げています。同時に月1回、曜日は決めていませんが、善行駅前で、夕方1時間宣伝活動を行っています。長く続けて行くことを目標に頑張っけてゆくつもりです。

一湘南大庭9条の会一

神奈川新聞、田崎基記者を講師に 8周年記念講演会開催

湘南大庭九条の会は、9月21日、大庭公民館で8周年記念講演会を行いました。演題は「安倍改憲と日本会議」。講師は神奈川新聞記者、田崎基氏に講演していただきました。

安倍改憲の表層とその深層を詳しく分析した内容で、安倍改憲の危険さがよく分る話でした。

安倍首相が掲げる改憲内容 ①自衛隊の憲法への明記、②高等教育の無償化、③緊急事態条項、④合区の解消、の4項目。①については、憲法九条1項、2項をそのままにして3項で明記をすれば反対勢力を分断できる。②④項は、国会審議で決めることができるのに、あえて掲げることによって改憲賛成派を取り込むという、

したたかな狙いがある。

そのバックに長年自主憲法制定の運動に取り組んできた「日本会議」がいる。ただ改憲反対に反論するのではなく、修正加憲するなら反対運動を分断、弱めることができる。と組織的、財政面でも強力に支えている。当日は各九条の会からの参加もあり、とても良かったです。

ふじさわ・九条の会 秋の学習会

『沖繩の今とこれから』



講師 新垣毅氏 琉球新報東京支社報道部長
日時 11月5日(日) 18:30 参加費 500円
場所 市民会館第二展示ホール

告知板

下記の行動、会議はどなたでも参加できます

<世話人会議>

- 10月30日(月) 13:30 ~ 推進センター
- 11月29日(水) 18:30 ~ "
- 12月18日(月) 15:00 事務局合同会議

<9の日行動>

- 10月9日(月) 13:30 ~ サンパール広場
- 11月9日(木) 13:30 ~ "
- 12月9日(土) 13:30 ~ "

<スタンディング行動>

- ★「抗議の火を絶やさない」
毎週月曜 12:00 ~ 13:00 サンパール広場
- ★「F・STAP」 毎月 第1、第4水曜日
15:00 ~ 16:00 サンパール広場
- ★「アベ政治を許さない 全国行動」
毎月3日 13:00 ~ サンパール広場

<不戦のちかい平和行動>

- 12月9日(土) 13:00 ~ 15:00 サンパール
広場